

馬場島に行ってきました

投稿者：大森雅宏 投稿日：2022年7月31日(日)13時50分1秒

2週間ほど前馬場島に行ってきました。

1978年にAAVKがгент峰に出かけたときの同窓会です。

私は部外者ですが、20年くらい前から「キミも来るか？」と声掛けいただいています。

今年は馬場島。コロナ騒ぎで2年中断3年ぶりです。

阪大の石原さん・工大の竹中さん・山本さん、市大の和田さん、近大の小川さんなど、皆さん70オーバーですが元気な面々。70手前は外大の上島さんと私。

その時に麓から見た劔の姿が素敵で、馬場島からの小窓尾根も印象的でした。

写真を添付します。

さて。

この掲示板も明日のお昼まで。

私は山嶽寮の掲示板書き込みダイジェストを受け持っていますから、名残惜しく感じています。

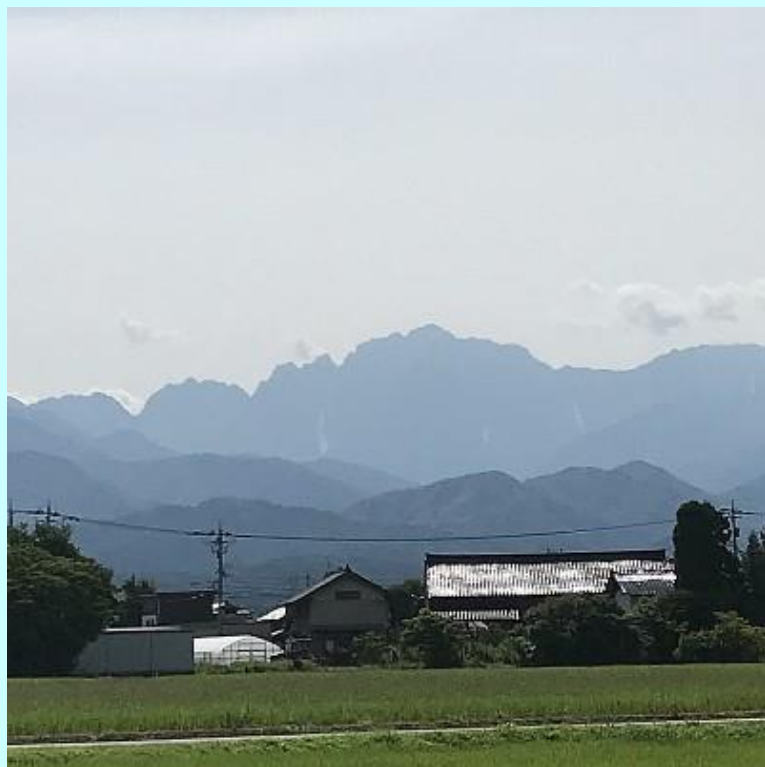
この掲示板は2代目ですね。

最初の書き込みは2007年9月から。

3代目の次の掲示板でも活発な情報交換が進みますよう。

ホームページを作成された塩崎さん・引き継がれた谷さんに感謝いたします。

そうそう、「ホームページ作ろうや」を言い出した雨宮さんにもですね。





了解しました。

投稿者：南井英弘(関西学院大学山岳会) 投稿日：2022年7月27日(水)07時12分17秒

長らく読ませていただくと投稿もさせていただき感謝しています。
皆様がこの HP から次世代に首尾よく転換されることをお祈りしています。

毛勝山

投稿者：山本恵昭 投稿日：2022 年 7 月 26 日(火)13 時 59 分 38 秒

毛勝山北西尾根。急で長い尾根でした。

予定していた山行が、コロナ感染者増のため 2 週連続で自粛や中止となった。折角なので、単独でどこかに行こうかと、人にあまり会わない山へ。

大学 1 年生の冬山合宿はここだった。ひたすらテントラッセル。5 月に、尊敬する今は亡き先輩カンさんと、毛勝谷から東又谷へと山スキー。思い出深い山である。

7 月 24 日、当初は、東又谷を遡行しようと思っていた。しかし、増水した沢を見て、すぐに諦めた。独りで渡渉するのは、ちょっと怖い。北西尾根のピストンに変更。

沢靴やロープ類の分が軽くなる代わりに、水 5 リットルが荷物に加わる。水場がないと思っていたが、実際には、雪渓が残っていて、水を汲めた。

尾根の途中で、何やら変な気配。ふと、木の上を見ると、猿の群れに囲まれていた。ストックを振り上げても大声を出しても、全く意に介さず、ときどきチラ見しながら、寛いでいる。お仲間とでも、思っているのかね。

クワガタ池の横に、テントを設営。ガスの切れ間に、のんびり北方稜線と後立山を眺めて過ごす。夕暮れ前、急にガスが晴れたので、慌てて山頂へ。不安定な大気に波打つ雲海と、それに浮かぶ山々。素晴らしい景色。ゆっくり眺めていたが、暗くなるまでにテントへ戻らないと。

25 日、夜は星空だったのに、夜明け前に雨がぱらつく。なんとか、雲の下、白馬岳からご来光。黒い雲が立ち込めているが、下山にはカンカン照りより良いかも。

今回のお試しは、防虫ネット付き帽子。家で試したときには、目の前のネットが鬱陶しかったけど、外では案外気にならない。何よりメマトイ対策に効果抜群。

下山後の立ち寄り、温泉ではなく、魚津水族館。コンパクトだけれど、深海魚の標本、ブリの餌やり、紅ズワイガニ、カエルやら、アザラシやら、見ごたえがある。手書きの説明が、なかなか面白かった。



投稿者：牧野宏 投稿日：2022 年 7 月 26 日(火)11 時 28 分 4 秒

谷勇輝さん

新掲示板に大変ご努力を頂きありがとうございます。

Re: (新) 掲示板のご案内

投稿者：越田和男 投稿日：2022 年 7 月 26 日(火)10 時 37 分 39 秒

> [No.3465\[元記事へ\]](#)

谷 勇輝さんへのお返事です。

ご多忙のところ、ご尽力に唯々感謝いたしております。

有難うございました。

(新) 掲示板のご案内

投稿者：谷 勇輝 投稿日：2022 年 7 月 26 日(火)00 時 49 分 19 秒

甲南山岳会の皆さま及び当掲示板をご覧の皆さまへ

当掲示板は下記の URL へ引っ越しましたのでご案内いたします。

<https://rara.jp/konanalpine/>

普段からお気に入り登録されて閲覧等されている方は、再登録をお願いいたします。

今までの有料掲示板と同じぐらいの費用で、内容も同等かそれ以上のもので契約しております。

閲覧制限もかけることができますのでご検討ください。

なお、新掲示板の写真の投稿は、6 MB（max 6 枚）／1 回の投稿 となっております。

ご案内が大変遅くなってしまったこと重ねてお詫び申し上げます。

<https://rara.jp/konanalpine/>

掲示板終了の件について

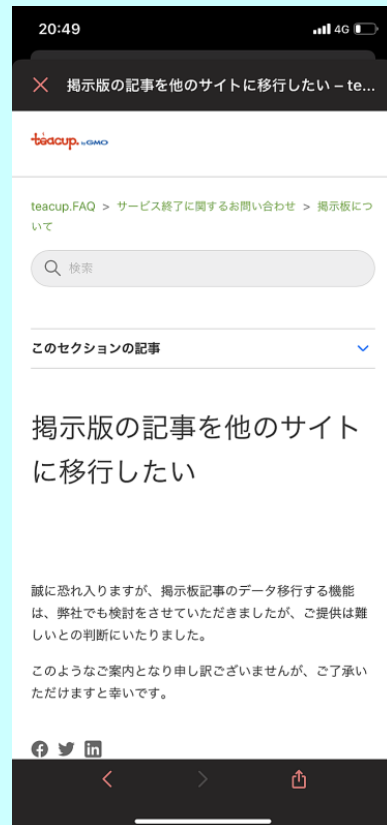
投稿者：谷 勇輝 投稿日：2022 年 7 月 25 日(月)21 時 18 分 31 秒

甲南山岳会の皆さま及び当掲示板をご覧の皆さまへ

以前から当該掲示板に「【重要】teacup byGMO のサービス終了について」でお知らせのとおり、8 月 1 日 13:00 をもってサービスを終了する（掲示板を見ることができなくなる。）との案内が記載されております。ご案内が遅くなり大変申し訳ございません。

当該掲示板の代替として同等で探していますが、素人作業なのでまだ見つからないのが現状です。期限内には新たな掲示板を作成し皆様へご案内できればと思っております。

なお、現在利用している掲示板の記事を新たなサイトに移行することは不可と記載されています。ただし、過去の投稿を保存したい場合はコピー＆ペーストや添付画像をご参考ください。



本ホームページの終了期限

投稿者：越田和男 投稿日：2022年7月25日(月)16時13分35秒

teacup byGMO のサービスの終了が8月1日と迫っていますが、HP 移転の件心配してます。
いきなりパタンと終わってしまうことはないのでしょうか。心配性の年寄りより。

有馬富士

投稿者：牧野宏 投稿日：2022年7月19日(火)19時19分28秒

1週間に1日、三田行きの用事があります。

17日、戻り梅雨の合間、用事のついでに有馬富士（海拔374m）に行きました。

しかしあいにく雨に遭いました。

頂上直下30分、ロックガーデンのような岩登りがあります。

楽しんでできました。



ロブソン

投稿者：平井幹男 投稿日：2022年7月14日(木)21時24分40秒

川村先輩、ありがとうございます。

写真エンペラーフェイスのルート図の左側の白い氷壁が甲南山岳部が49年前おそらく日本人初登で登ったケインフェイスです。

教えていただいてありがとうございました。

Re: ロブソン

投稿者：川村静治 投稿日：2022年7月14日(木)20時54分37秒

> [No.3458\[元記事へ\]](#)

平井幹男さんへのお返事です。

Mt Robson の Emperor Face はこんな感じのようです。

<https://explorersweb.com/new-line-on-mt-robsons-prized-emperor-face/>

岩と氷が交互に現れる垂直の壁、一般登山者の立ち入ってはいけない領域です。

> 川村先輩の記載拝見しました。

> 懐かしいロブソンが

> でてきたので、思わず読みました。

> エンペラーフェイスがどの辺りか検索しましたが良くわかりませんでした。

> 検索の途中で最近のケインフェイスの日本隊の記録があつたので懐かしく、記憶をさかのぼりながら読み耽りました。

> もう49年前ですが青春でした。

> まだまだ当時の記録は色褪せていません。

Re: アルピニスト

投稿者：越田和男 投稿日：2022年7月14日(木)11時29分21秒

> [No.3457\[元記事へ\]](#)

川村静治さんへのお返事です。

映画「アルピニスト」を観に行こうか行くまいか、迷いながら未だ観てません。。

数年前に、アレックス・オノルドのヨセミテのエル・キャピタンのあるルートを単独フリーで登る「フリーソロ」を観て、リアルな緊張・緊迫感に圧倒されて、何だか気分が悪くなったのが思いだされるからです。

オノルドは未だ生きてますが、ルクレールは結局死んでしまい、遺体も出てこないのですね。

スーパーアルピニズムの行きつくところは、何だか宗教染みて、別世界のような気がします。

ロブソン

投稿者：平井幹男 投稿日：2022年7月14日(木)11時13分51秒

川村先輩の記載拝見しました。

懐かしいロブソンが

でてきたので、思わず読みました。

エンペラーフェイスがどの辺りか検索しましたが良くわかりませんでした。

検索の途中で最近のケインフェイスの日本隊の記録があつたので懐かしく、記憶をさかのぼりながら読み耽りました。

もう49年前ですが青春でした。

まだまだ当時の記録は色褪せていません。

アルピニスト

投稿者：川村静治 投稿日：2022年7月13日(水)14時35分28秒

カナダの単独行クライマーのマーク・アンドレ・ルクレールの記録映画を見てきました。

カナディアンロッキーのロブソン山エンペラー・フェイス、パタゴニアの Torre Egger

の冬期単独登頂を達成するも、アラスカジュノーで登頂後行方不明となります。

登山の歴史を変えた一人ではないでしょうか。

<https://youtu.be/59khMrowRm8>

納涼 柏尾谷

投稿者：山本恵昭 投稿日：2022年7月3日(日)15時22分33秒

7月2日朝から暑くて、摩耶山トレーニングも裏山散歩も行く気がしない。こんな日はやっぱり沢だ。

昼頃からバイクに乗って、サクッと丹生山系柏尾谷へ。

天津彦根神社の横から下り、橋のある滝からスタート。

渇水で迫力不足ではあるが、滝の大きさの割には滝壺が深く、胸まで浸かると暑さを忘れる。次々と現れる小滝は、ほぼ直登できる。途中の川床は広い岩盤で、平な滑状。二股から上は増々水量が減るが、手頃な滝がまだまだ出現。上の二股まで行くと、いよいよ水がなくなって終了とする。

谷沿いの踏み跡を下るが、滝はわざとクライムダウンし、最後は滝壺ヘッドボン。キャンプ場跡から下は遊歩道を辿って、天津彦根神社へ戻った。

小滝といい滝壺といい、お手頃でなかなか良いのだけれど、渇水で落ち葉や泥が多く、目の周りにまとわりつく虫が多いのも残念。スカッという感じではないけれど、猛暑を凌ぐことができた。



掲示板

投稿者：平井幹男 投稿日：2022年7月2日(土)08時31分53秒

会員の皆さんに大変ご心配をお掛けして申し訳ありません。

今、担当の谷君と連絡をとって、谷君から 7 月中になんとかしますと回答がありましたのでもう少しお待ち下さい。

今後も貴重なご意見宜しくお願いいたします。

Re: 掲示板

投稿者：牧野宏 投稿日：2022 年 7 月 1 日(金)23 時 24 分 38 秒

> [No.3452\[元記事へ\]](#)

川村 静治さんへのお返事です。

掲示板は会の宝でありなんとか存続されんことを切望します。

Re: 掲示板

投稿者：越田和男 投稿日：2022 年 7 月 1 日(金)20 時 46 分 25 秒

> [No.3452\[元記事へ\]](#)

川村 静治さんへのお返事です。

> あと 1 カ月ばかりで teacup byGMO 掲示板が使えなくなります。Web master さん何かお手伝いできることがあれば声をかけてください。

掲示板を含む甲南山岳会のホームページの存続を切に希望いたします。
一老会員よりのお願い事です。

掲示板

投稿者：川村 静治 投稿日：2022 年 7 月 1 日(金)16 時 27 分 56 秒

あと 1 カ月ばかりで teacup byGMO 掲示板が使えなくなります。Web master さん何かお手伝いできることがあれば声をかけてください。

摩耶山トレーニング

投稿者：山本恵昭 投稿日：2022 年 6 月 19 日(日)23 時 24 分 41 秒

久しぶりに摩耶山トレーニング。

涼しいうちにと、早起きして 6 時から登り始める。

朝から濃霧。湿度 100%。

小さな霧粒は、木々の枝葉にまとわりついて、素朴なヤマアジサイの花を輝かせる。そして、蜘蛛の巣を銀河に変えた。

6 月のキノコは、キクラゲ。ちょっと時期が遅く、半数はドロドロ。綺麗なものを厳選して、夕食に。
もう一つの狙いは、シイの根本に生える真っ赤なカンゾウタケ。こちらも時期遅れ。



鼻曲がり

投稿者：山本恵昭 投稿日：2022年6月14日(火)07時02分42秒

某山某谷某所で、以前武田さんからいただいた毛鉤で釣り。

いかつい顔、いわゆる鼻曲り！

厳しい自然の中で生き残ってきた野生の凄味。

余りに神々しいので、酒のあてにはせずにリリース。あと何年、生き続けることができるのだろうか。



Re: アカンダナ、高ボッチ

投稿者：越田和男 投稿日：2022年6月11日(土)11時51分39秒

> [No.3447\[元記事へ\]](#)

川村静治さんへのお返事です。

思い出を少々。

安房峠からアカンダナとは反対側の安房山 2219m に 10 数年前の残雪期に登ったのを思い出しました。雨さん、トンチさん、二谷、塩崎と一緒に。キツイ登りでしたが、何とか登頂。下りにアカンダナをトイメンから眺め、その急峻さに、次に登ろうという気が全く無くなりました。

高ボッチ高原には、かつて乗鞍や奥飛騨での集会の行き帰りによく立ち寄り遊びました。今は亡き平井センキチや大関の元気だった頃でした。槍や穂高を眺める絶景の山頂に椅子やテーブルを出して豪華なランチを楽しんだり。

ダイダラボッチについては、昔の山岳部の部報に森（鷹巣）和則君が印象に残るエッセイを書いていたのを思い出して再読しました。現役の低学年の時に柳田国男の本から得た断片的な知識を背景に、後年に山麓やそこに住む人々との交流で得たあちこちのダイダラボッチについて語っています。

森和則 “ダイダラボッチの住む山々” 甲南山岳部『時報』No.12（1974）

堀江さん

投稿者：牧野宏 投稿日：2022 年 6 月 7 日(火)15 時 22 分 51 秒

4 日塩崎さんに上高地から松本まで送ってもらいました。

19 時大阪に着きその足で堀江ヨットマンを出迎えたかったのですが既に新西宮ヨットハーバーへ寄港されたとのこと。

5 日朝ハーバーへ行って来ました。

堀江さんとは同年齢、自分勝手に親しみを覚えています。

前回の地球一周も明石大橋でマーメイドⅡ号を出迎えました。





アカンダナ、高ボッチ

投稿者：川村静治 投稿日：2022年6月7日(火)14時30分42秒

車の中で、何でやと話題になった名前の由来を調べてみました。

平湯温泉の上高地行きバスターミナルのあるあかんだな駐車場。背後の山がアカンダナ山 2109m といって焼岳と安房峠の間にある火山です。漢字で赤棚と書きます。登山道はなく崩れやすく積雪期でないと登りにくいみたいです。

塩尻と岡谷の間にある高ボッチ、由来は諸説あるようで、伝説の巨人『だいだらぼっち』が腰掛けて凹んだとか、アイヌ語でボッチは巨人だとか、塩尻市の図書館が調べた回答へのリンクをご参考までに。

https://crd.ndl.go.jp/reference/detail?page=ref_view&id=1000186830

山獄寮への寄稿

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2022年6月6日(月)15時32分8秒

24年前、東京のイタリ文化会館で 当時来日中のイタリ-の誇る登山家；ワルテルボナッチと愛妻のイタリ-映画界の名花；ロッサナポデスタと歓談の機を得ました。その際、ボナッチの書いた“わが山山へ”の本の 序文：わが山 山へその厳しい道場からわが青春が学び取った心の幸せに対して 限りなき感謝をこめて：をイタリ-語で記してもらいました。そのとき彼は “”ちょっと意味が違うかもしれないがと ことわって書いてくれました。ポデスタは北アフリカ リビアで生まれたことを知っていましたので それを言うと びっくりしていました。小生 バイルート駐在時代数回リビアへ出張してましたので そのことは知っていました。

以上編集長 に当該資料とともに送りますので、よろしくお願いします。

投稿者：飯田進 投稿日：2022年6月6日(月)11時10分54秒

森井で上高地組と別れた後、柕池自然園で水芭蕉を撮りに行ったのですが、ゴンドラ稼働していなかった。

11日からだとか、しゃーないから鎌池でお茶を濁してきました。

写真は帰りに移した 有明岳。

信濃なる 有明岳を西に見て 心細野の路を 行くなり と西行法師は詠んでいますが、なんで常念岳を詠まなかったのでしょうか。法師は

時雨れ降る 有明岳を馬手に見て 心細野の 道を行くなり とも読んでいます。

法師も運が悪かった、のですね。



6月集会その他

投稿者：川村 静治 投稿日：2022年6月6日(月)09時50分28秒

河童橋から焼岳、明神から徳本峠、大平峠展望台から南木曽岳の写真を追加でのせておきます。





雨宮山荘

投稿者：塩崎将美 投稿日：2022年6月5日(日)16時30分57秒

2日目は松川の雨宮山荘に泊まり亡き先輩を偲びワイワイガヤガヤと楽しみました





Re: 6月集会

投稿者：越田和男 投稿日：2022年6月4日(土)23時41分0秒

塩崎将美さんへのお返事です。

今朝の上高地は表現は悪いかも知れないが、絵のように綺麗。
残雪の穂高、河童橋、梓川の清流。参加出来ずに残念。

梅雨入り前のこの季節が正解、来年は何としてでも行きたい。
河畔のテーブルで白ワインを飲みたい。
ヤッさん宜しく。

6月集会

投稿者：塩崎将美 投稿日：2022年6月4日(土)19時43分51秒

久しぶりに集まり楽しみました。上高地ー明神をのんびりハイキングしました。





慰霊祭の写真

投稿者：森本 美子 投稿日：2022年5月27日(金)08時42分14秒

森本様から掲示板への投稿依頼がありましたので、転送します。(柏)

井上様から、故森本全彦の銘板設置の様子とレリーフの写真、慰霊祭に参加された全員の写真を娘の分と合わせて送って来て下さいました。ありがとうございます。

お話ししながら登らせていただいた國分様もご子息様も、掲示板に筋肉痛の中、レリーフへと向かわれたと書かれておられた松下様もお嬢様と写ってみえ、周りを山のかけがえのない友達に囲まれて、どこかに亡くなった三人が、写っているような心温まる写真でした。

本当にお世話になりありがとうございました。

ケーキやワインやら飴やら、いただいてばかりでした。

私を引っ張って下さった方々、大変だったでしょうが、本当にありがとうございました。

なんか心が落ちつき、晴れやかになりました。

松下様、再度の慰霊碑ご訪問、筋肉痛で転びそうになり、途中で断念されたとの事。次回は気をつけて、無事に慰霊碑まで行けますように願っています。

森本 美子

訂正の事

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2022年5月24日(火)17時02分4秒

既報のお名前：喜多又太郎氏が正しく、北又二郎氏は間違いでした。申し訳 ありません。廣瀬

木曾漆器祭り

投稿者：鈴木頼正 投稿日：2022年5月24日(火)10時44分41秒

久しぶりに木曽漆器祭りが今年 6 月 3 日～5 日まで行われます、秋の漆器祭りは 10 月 31 日までの一か月の開、100 店舗の店が並びます、お盆、お箸、器等があります、ときにはプラスチックのまがい物もあり注意して下さい、水が美味しいです、宿場ですから昔の宿も残っています。古き良き時代、昔の風情を楽しんで下さい、この祭り日以外は寂れた、人もいないゴースタウンです。

kac レリーフ

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2022 年 5 月 23 日(月)11 時 09 分 54 秒

太平洋戦争で 甲南山岳会員の先輩も亡くなられ これら戦没者への哀悼の意に端を発して 1952 年：s 27 年に設置された：当該戦没お亡くなりの方々は次のとおりです。楠木義昭様：1945 年インパール 北又二郎様：シナ事変 多田潤也様 湯川孝夫様：1945 年八月広島 1944 年北支藤沢浩様 加藤弘三様レイテ島 村上正一郎様南シナ海 田口六郎様 1944 年西部ニューギニア、ヌンホル島。甲南という自由な雰囲気の中で青春を謳歌されたこれらの先輩方は どんなお気持ちで戦場に向かわれたのでしょうか。合掌。

慰霊祭

投稿者：越田和男 投稿日：2022 年 5 月 22 日(日)21 時 34 分 2 秒

ご遺族を含め参加各位には、それぞれの物故者への思いを込めたひと時を過ごされたことと拝察いたします。甲南レリーフへの道は、特にご高齢者にとっては、如何ほどの難路であったことかと、今や老齢となった我が身にひしひしとを感じる次第です。

参加者名簿に同期の牧野ドングリの名があり、集合写真でも元気に映っているのが嬉しいです。ドングリ 83 歳が今や参加者の最高齢、続く浪川や、南里も元気そうで何より。

平井会長、井上君らの開催主催者諸兄のご尽力に感謝いたします。

、

慰霊祭

投稿者：松下 洋子 投稿日：2022 年 5 月 21 日(土)18 時 45 分 13 秒

慰霊祭に参加された方々、筋肉痛は大丈夫だったでしょうか？

私は、日頃の運動不足のツケで、2 日間ほど壊れたゼンマイ仕掛けロボットのような歩き方で、生活しておりました。

2 月に平井会長より、慰霊祭への参加のお話があったときには、まだ無理だと考えておりました。4 月に慰霊祭の案内ハガキが届き、往復ハガキを毎日眺めながら、行く？行かない？を自問自答。日々の気持ちコロコロと変化してしまい、行く気持ちが大きくなった日に参加へ丸印をしてポストへ投函、「これで後戻りは出来ないぞ」と自分に言い聞かせることに。

慰霊祭に参加した際には、松下の葬儀・告別式に際して事前に香典辞退を、お伝えしていなかったお詫びや、お世話になった方々にお礼を申し上げたかったのですが、40 年ぶりに南里様とお会いして、号泣しそうになり、ほとんど何も言えずお別れしてしまいました。

まだ、松下の銘板を見るのは辛く、他の方の銘板を見ておりました。

井上様が松下の銘板を取り付けていただいた後に、我慢せずに気が済むまで泣いていたなら、松下が亡く

なったことを受け入れられていたかも、と思い今日レリーフへ行く予定で出発しましたが、筋肉痛の後遺症でしょうか、登りで何度も躓いて転びそうになり、「下りだったら完全に転げ落ちていたな、危な～」と言うことで、途中で引き返してきました。

今までは、松下の背中だけを道しるべとして山登りをしておりましたが、これからは今日のように、自分で判断し行動していなくては、と改めて考えさせられました。

慰霊祭に参加して、國分様、森本様のご遺族と共に時間を過ごせたことは、心の拠り所となります、慰霊祭を開催していただいた甲南山岳会の方々に感謝致しております、ありがとうございました。

慰霊祭

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2022年5月21日(土)09時40分58秒

多くの参加で、何よりです。亡き数に入りし甲南山岳会員もさぞ喜んでいましょう。小生 参加予定でしたが、痛めた足の調子悪く行けませんでした。

慰霊祭

投稿者：井上 知三 投稿日：2022年5月21日(土)08時59分15秒

慰霊祭について

コロナの影響で3年ぶりの開催。当日（5/15）日曜日は山歩きには最適な曇り空でした。個人の体力に応じて、

集合時間を分けて阪急芦屋川に集合。3つのグループでそれぞれにロックガーデンの慰霊碑に向かいました。

12時過ぎには皆がレリーフに集まり、例年通り、黙祷の後、部歌を斉唱、食事、記念撮影終了後、現地で解散いたしました。

例年になく多数の下記参加者となりました。

ご遺族の方々

森本 美子 様・森本 安紀 様・國分 眞知子 様・國分 俊夫 様・松下 洋子 様・押切 知恵 様【松下さんの長女】

牧野 宏さん・浪川 純吉さん・南里 章二さん・平井 幹男さん・村田 信一さん・西村 清さん・渋谷 一正さん・

大柳 香代子さん・西村 綾子さん・大森 雅宏さん・鳥井 陽子さん・要 裕晶さん・豆田 隆志さん・山本 恵昭さん・

川村 静治さん・井上 知三 以上22名



(無題)

投稿者：森本 美子 投稿日：2022年5月18日(水)21時16分52秒

写真の追加





慰霊祭に参加して

投稿者：森本 美子 投稿日：2022年5月18日(水)21時12分8秒

森本様から「慰霊祭に参加して」の投稿を頂きましたので転載します。（柏）

甲南山岳会の慰霊祭へいってくるわ～ 日頃、自転車に乗っているし大丈夫だろうと、娘と二人、阪急芦屋川駅で浪川さんと待ち合わせをしました。歩きだしたら、こんな岩山に登っていたのと思う程、石、又、大きな石。鶯の声も山ツツジも眼下の景色も目に入らず。一つの石を登るのに、這うようにヨイショ、ヨイショと山本さんに手を引いてもらい、やっと、レリーフの所へ、この石に座ってと言われ、もう、どこへ足をおいても滑り落ちそうでした。レリーフ、銘板に手を合わせて、やっとホッとしました。

國分様の奥様、ご子息様、松下様の奥様、娘様にもご挨拶が出来ました。私が動くのが危ないので、レリーフの前で歌って、写真を撮り、お弁当も済ませて頂きました。そして、色々な方からもお声を掛けて頂きました。

帰りは少し楽な道を、それでも私にはえらい事でした。浪川さんに手を引いてもらい、山本さん、川村さんに後ろから押してもらい、這うようにおりました。森本の山靴履いて、川の石をそこそこと言われながら川の中を歩き、無事に自動車道へ出ました。

コロナの中でアツという間に主人を見送ってしまい、國分様の奥様、松下様の奥様とこの慰霊祭に参加させていただいたのが、一番の供養ですし、一番の大きな思い出になり、本当に感無量の思いを共有しました。

ひとつも夢に出てきませんが、無事に戻りまして、仕事が出来のを見守っていて呉れるんですね。

皆さん、優しく、慰霊祭に参加させて頂き、ホッとしました。関わって下さいました皆々様に心よりお礼申し上げます。有難うございました。

森本 美子





Re: レリーフ

投稿者：山本恵昭 投稿日：2022年5月18日(水)06時59分54秒

ゲテさんへのお返事です。

芦屋高座谷も良いですが、摩耶山トウエンティクロス沿いに、良いキャンプサイトが沢山ありますよ。

広々していて、薪もいっぱい。

キャンプブームで、市ヶ原は混んでいますが、それ以外のところは空いています。

山岳会総会と慰霊祭

投稿者：柏 敏明 投稿日：2022年5月17日(火)12時46分30秒

山岳会総会、慰霊祭、無事に終了された様子。

井上さんの銘板取り付けをはじめ、事務局の皆さんには、案内の準備や手配が大変だったと思います。有難うございました。

三年ぶりに皆さんとお会いし、ここ数年亡くなった方々の銘版に手を合わせられることを楽しみに、又、森本様の奥様には、ご一緒にレリーフまで行きましょう、ご案内しますとお話していたのが、直前に軽度のぎっくり腰になり、残念ながら出席もご案内も出来ませんでした。

慰霊祭の夜、森本様の奥様からお電話を頂き、浪川さんをはじめ、皆様が、國分様の奥様と私達の前後になって、手を引いて頂いたりして案内をして頂き、無事に慰霊碑と銘板を拝むことが出来、感激しました、皆様に御礼をお伝えくださいとお喜びのお電話を頂きました。総会や慰霊祭の様子を写真と共に報告して頂ければありがたいです。宜しくお願いします。

Re: レリーフ

投稿者：ゲテ 投稿日：2022年5月16日(月)06時56分50秒

> [No.3424\[元記事へ\]](#)

山本恵昭さんへのお返事です。

> 昨夜、高座の滝の2つ上のダムでキャンプしました。先ほどレリーフの辺りを確認して、プロペラ岩近くの岩場で寛いでいます。

> 高曇りで暑すぎず、ハイキングには良い天気です。

> 新しい道が次々出来ていて、ややこしいです。

山本さんが幕営していたのなら、僕も5月3日に3カ所ほどいいポイントを見つけたので前泊しようか悩んでいました。

私の結婚祝いにテントとガソリンコンロをプレゼントしてもらっていたのでそれを引っ張り出して点検済みでした。しかし、前日までの天気予報では大雨の予報だったので断念したので残念です。

いつか、高座谷で再チャレンジしようと思っています。

プレート取り付け

投稿者：山本恵昭 投稿日：2022年5月15日(日)22時29分4秒

井上さん、御苦労様でした。



山岳寮

投稿者：編集長 投稿日：2022年5月15日(日)17時01分4秒

原稿募集してます。

ただ今追悼文が1件届いてますが他は0件です。

皆さん何か書いてください、お願いします。

レリーフ

投稿者：山本恵昭 投稿日：2022年5月15日(日)08時32分36秒

昨夜、高座の滝の2つ上のダムでキャンプしました。先ほどレリーフの辺りを確認して、プロペラ岩近くの岩場で寛いでいます。

高曇りで暑すぎず、ハイキングには良い天気です。

新しい道が次々出来ていて、ややこしいです。



投稿者：渋谷一正 投稿日：2022 年 5 月 14 日(土)22 時 14 分 35 秒

2 年間コロナのため休会していましたが
本年 10 月 8 日（土）「駒王」で集会を
計画しています。
多くの皆様の参加をお願いいたします。

本日の総会で話し合った日程は予約が入ったそうなので
上記日程に変更いたしました。

Re: 武田尾まで

投稿者：越田 投稿日：2022 年 5 月 13 日(金)20 時 47 分 8 秒

> [No.3420\[元記事へ\]](#)

牧野宏さんへのお返事です。

元気なのは何より。そやけど、家族に内緒というのはいけませんな。この歳ですから。

昔の武田尾駅（旧駅）を思い出します。ホームまで猿が出てきたりして。
SL だった福知山線は、大森君のいうように、下りは登り勾配で、窓の開け閉めが大変。帰りの上り列車は
降り勾配なので窓は開け放して大丈夫でした。

牧野さん 今度もすごい

投稿者：大森雅宏 投稿日：2022 年 5 月 13 日(金)13 時 41 分 44 秒

第 3 弾ですね。

この間の保久良山 梅見会の時に伺った計画、今度は武庫川遡行のお話し。

1 枚目の写真の右端に見えているのが、宝塚大橋と阪急の鉄橋ですね。
あそこから上流、次の宝来橋までが花火大会の打ち上げ場所だった記憶があります。
子供のころは川の西側がずっと旅館街でしたが今はすっかり様変わり。

花火大会の次の日、川原に行ったら打ち上げ花火の外側、ボール紙の半球が落ちていたなんてことも思い
出します。
福知山線、昭和 40 年ころまでは蒸気機関車でトンネルに入るまでに窓を慌てて閉めていました。

総会でお目にかかります。またお話しをお聞かせください。

武田尾まで

投稿者：牧野宏 投稿日：2022 年 5 月 12 日(木)17 時 47 分 15 秒

西宮市甲子園から宝塚まで武庫川（西側）沿いの遊歩道 よく整備されていて快適だ。
数年前 甲子園からぶらりと宝塚まで歩いた。

もう少し先の武田尾まで歩きたいという思いを残し その日は JR で帰宅した。

今年の大型連休中 雨が降らず武庫川の水量は少ない 11 日から雨予報。

今日 10 日は快晴 よし歩こう！

7:30 甲子園スタート → 9:10 甲武橋 → 11:30 宝塚の武庫川西側 →
12:10 東側まで渡渉 → 14:30 生瀬 → 16:20 名塩 →
19:30 武田尾温泉着

西宮市の遊歩道は宝塚市に入るとぶつ切り無くなる。で渡渉が楽しみであった。

宝塚市のマンション群の光景に 小原耕治（オニ）さんがこの近くに
住んでおられて花火の季節にお世話になったことなどを思い出していた。

水深おおよそ 40～50cm 岩の苔に滑り長靴は浸水。

まあ全身ずぶ濡れが正しい表現だろう。

宝塚で武庫川を渡渉したい 武田尾まで歩きたい を実行できた。

武庫川沿いの美しい渓谷。風も陽射しも優しい。

名塩の JR 廃線のトンネルなども見て。

家族に内緒で行ったので尾行されず良い一日だった。





Re: 北ノ俣岳

投稿者：山本恵昭 投稿日：2022年5月10日(火)18時07分11秒

越田さんへのお返事です。

> ところで、クトーとはどんな道具ですか。

こんな感じのスキーアイゼンです。

凍った雪面の登りで有効ですが、踵のクライミングサポートを使うと雪面の刺さる部分が短くなり、あまり効かなくなります。



Re: 総会・慰霊祭

投稿者：越田 投稿日：2022年5月10日(火)12時06分45秒

遠隔地在住で体調万全でなく、総会にも慰霊祭にも失礼しますが悪しからず。

設置 70 年を経た芦屋ロックガーデンの甲南レリーフのことが気になっています。いつまで存続できるのでしょうかね。

そろそろ移設につき議論を総会の議題として取り上げてもらえませんか。例えば岡本キャンパス、それが駄目なら芦屋の高校キャンパスなど。あるいは、このまま朽ち果てるに任せるのがベストという結論となるかもしれません。

それから、これから増えてくるとされる銘板への参加の意思表示のないまま亡くなられる物故者の扱いなども議論の余地あります。過去には有志一同の費用負担で銘板を作成してきた経緯はあります。

因みに、今回の慰霊祭ご案内ハガキの新規物故者リストに、伊藤長次郎氏（旧 21 理）（2021 年 1 月没）のお名前が抜けています。銘板の有無をご確認下さい。

Re: 北ノ俣岳

投稿者：越田 投稿日：2022 年 5 月 10 日(火)11 時 22 分 43 秒

> [No.3414\[元記事へ\]](#)

山本恵昭さんへのお返事です。

素晴らしい残雪期の山行ですね。真川源流というターゲットも良く、。
天候にも恵まれたようで、貴兄の満喫度が伝わってきます。
山岳寮に是非紀行文を。
ところで、クトーとはどんな道具ですか。

北ノ俣岳 3

投稿者：山本恵昭 投稿日：2022 年 5 月 10 日(火)02 時 13 分 53 秒

真川源流でのキャンプの写真です。

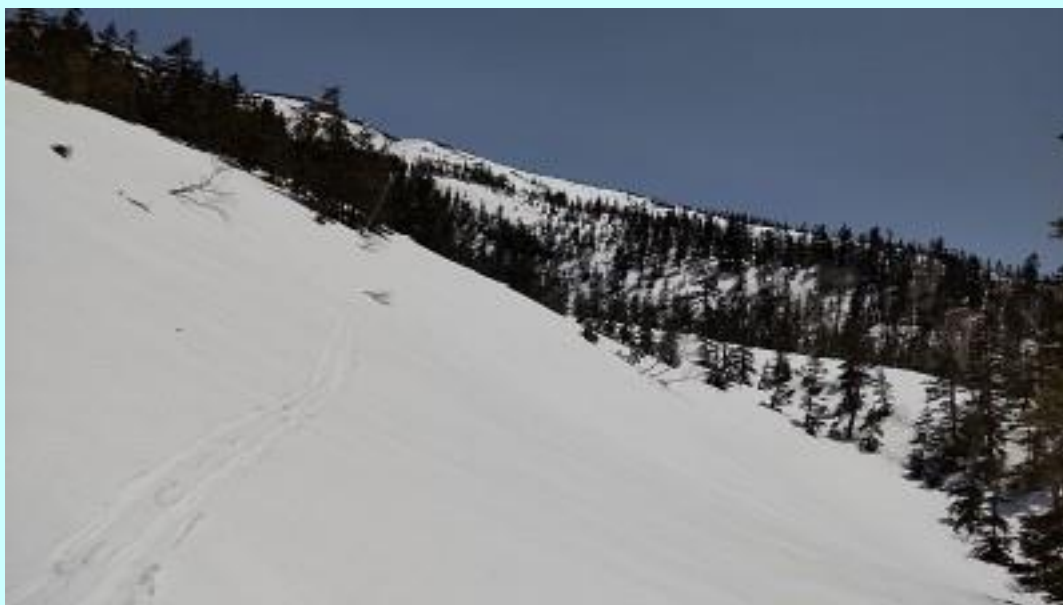




北ノ俣岳 2

投稿者：山本恵昭 投稿日：2022年5月10日(火)02時11分9秒

スキーの写真です



北ノ俣岳

投稿者：山本恵昭 投稿日：2022年5月10日(火)01時59分6秒

GWは、やっぱり山スキー。そして、イワナも釣りたい。釣ったイワナは、焚き火で塩焼き。でも、休めるのは、暦通りの3日間。あんまり奥地には行けない。

考え抜いた計画は、飛越トンネルから入山。途中、寺地山から北に降りて、真川源流でキャンプ。長い森を登り、北ノ俣岳へ。標高差約1000mを一気にスキー滑降。イワナ釣り、焚き火三昧。

5月3日、雪の多い冬だったが雪解けは急速に進み、飛越トンネルの手前約1 km まで車で入ることができた。神岡新道下部の泥濘には、長靴が最適。でも、スキーセットで荷物が重い。

寺地山から北に伸びる尾根は穏やかで、スムーズに真川源流に滑り降りることができた。

期待していたスノーブリッジは皆無で、危なっかしい丸太橋を渡る。手頃な雪原にツエルトを張り、焚き火準備とイワナ釣り。チビッコはお戻りいただいて、2尾を塩焼きに。

4日、早朝の原生林を、シールとクトーで登る。清々しいが、少し得体のしれない怖さを感じる。これを畏怖というのか、畏敬というのか。

スマホGPSを頼りに登り続けると、木々も低くなり、やがて上部の無木立斜面、そして、神岡新道トレースに合流。

快晴の北ノ俣岳山頂からは、絶景。北には、堂々と薬師岳。東は、雲ノ平の向こうに赤牛岳から水晶岳。さらに、三俣蓮華岳と黒部五郎岳の間から槍ヶ岳の穂先が見える。

北ノ俣岳西斜面は、スキー天国！先日降った雪が古い雪を覆い、程よく緩んで、抜群のコンディション。ハイスピード大回りが気持ちいい！

下部の森は、総合格闘技。日陰はガリガリ、日向はズボズボ、木々の根元には落とし穴、小さな谷地形、うっかりしていると雪に隠れた枝に引っかかる。そんなこんなも楽しみながら、キャンプサイトに戻る。

平らな石を雪の上に置いてベンチを作り、のんびり昼食。日向ぼっこ。

上流に下流に、イワナを求めて徘徊。思ったほど大物は出なかった。4尾をキープし、焚き火で塩焼きに。やっぱり旨い！

5日、朝の雪の締まった間に寺地山まで登り返し、神岡新道を下る。デポした長靴に履き替えて、ダラダラと飛越トンネルへ。途中であった人が、「クマがいた」と。まあ、この辺のクマは控えめで純な奴だと信じよう。車のところで濡れものを干している間に、水浴び、着替え、ちょっと山菜。

欲張り計画を3日間で堪能。あ～面白かった。これだから、なかなか、山はやめられない。

薬師岳

三俣蓮華岳と黒部五郎岳の間に槍ヶ岳

雲ノ平の向こうに、赤牛岳～水晶岳





6月3日の集会

投稿者：牧野宏 投稿日：2022年5月6日(金)13時20分11秒

安井さん

新平湯の集いに参加いたします。

お世話になりますがよろしくお願いいたします。

6月集会の参加状況

投稿者：安井 正 投稿日：2022年5月6日(金)11時47分14秒

投稿時現在 8名が参加予定です。

Re: 6月集会のご案内

投稿者：塩崎将美 投稿日：2022年5月6日(金)09時12分59秒

安井 正さんへのお返事です。

参加させていただきます。ただし腰痛でドタキャンするかも。

剣登山

投稿者：大森雅宏 投稿日：2022 年 5 月 4 日(水)17 時 47 分 3 秒

新コロ騒ぎで出控えゴールデンウィーク、3 年ぶりに規制解除。

近場に出かけてきました。

剣。

近場ですから富山ではない。

徳島。

渋滞を避けるのと高速の夜間割引を考えて朝 3 時半出発。

無風快晴のなか楽々登って来ました。

今回は雨さんにいただいた山靴で足ごしらえ。

いただきましたのが 15 年前。

心配通りソールが剥げました。

はがれもあるかと太い目長い目のタイラップも持参しましたが、予備のスニーカーに履き替えてごまかしました。

行動終了近くで大事なし。

自分で補修するか張り替えに出すか。

考えてみます。

ショボいネタですから写真はなし。

ではでは。

六月集会

投稿者：渋谷一正 投稿日：2022 年 5 月 4 日(水)15 時 59 分 59 秒

安井様

集会に参加させてください。

翌日の松川山荘にも参加を希望しています。

よろしくお願いいたします。

井上さんの車に乗せていただこうと思っています。

慰霊祭参加

投稿者：渋谷一正 投稿日：2022 年 5 月 4 日(水)13 時 20 分 21 秒

15 日の慰霊祭に松下夫人の洋子さんとお嬢さん、大柳（ポチ）、西村（ゲテ）、西村夫人（イモ）は渋谷とともに現地集合で参加します。

よろしくお願いいたします。

六月集会

投稿者：井上 知三 投稿日：2022 年 5 月 1 日(日)10 時 43 分 33 秒

安井さん

参加いたします。よろしくお願いいたします。久しぶりの集会楽しみです。

jac の歩き

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2022 年 4 月 27 日(水)16 時 50 分 15 秒

去る四月 21 日、小雨の中、武田尾駅から竜王山に登り、道場駅まで歩きました。百じょう岩や不動の岩場は見えず。懐かしの道場駅はすっかり様子が変わってました。誰かが〃〃〃駅の近くの茶店?に綺麗な娘さんが居たと話をしていました。ぼんやりと思い出す当時の事、同世代の昔話に親近感を覚えました。

森井の会

投稿者：飯田進 投稿日：2022 年 4 月 27 日(水)09 時 28 分 58 秒

6 月 3 日 森井集会 バブさんと参加させていただきます。

宜しく・

6 月集会のご案内

投稿者：安井 正 投稿日：2022 年 4 月 26 日(火)14 時 20 分 2 秒

3 年振りに「残雪と新緑を愛でる会」をご案内いたします。

日時：6 月 3 日（金）～4 日（土）

場所：新平湯温泉「森井」

会費：8,000 円（プラスアルコール）

定員：10 名（部屋数が減っています）

掲示板なり安井宛メールにて奮って御申込下さい。

なお、4 日の夜は雨宮家のご厚意により松川山荘の使用許可を頂きましたので、スケジュールに余裕のある方は一緒に南アルプスを眺めつつ亡き家主を偲びませんか。

甲南レリーフ

投稿者：山本恵昭 投稿日：2022 年 4 月 24 日(日)19 時 19 分 26 秒

4 月 24 日、朝から雨。でも、来週ではタイミングを逃すので、酒の肴を求めて山へ。

今の時期、狙いはコ〇〇〇〇〇。1 年に 1 回は食べたいくせになる香り。

ちょっと開き過ぎのものが多く けど、少しは収穫。

これがダメなら、同じウコギ科のタ〇〇〇〇〇。そこそこ収穫。

コロナの影響で、単独行が多い＝いつでも「や～めた」が出来る＝晴れた日にしか行かない。

これでは、体が自然をなめてかかるので、あえて雨の日に。古いゴアテックス雨具は、あまり着ていないのにシームテープが剥がれて、全身びしょ濡れ。やっぱり寒い。

あたりまえだけど、雨の岩場はよく滑る。何度もひっくり返り、杖代わりにしていた傘はグンニヤリ。靴が古いのか、バランス感覚が落ちているのか。

登山口近くで、消防のレスキュー隊。前の方には、レスキューシートにくるまれて背負われている人が。頭には

包帯。スリップして、怪我をされたそう。明日は我が身かも。慎重に！

ふと気付くと、腕時計がない。登山道ならまだしも、今回の藪漕ぎコースでは、戻っても見つかる可能性はほとんどゼロ。ガーン！ボケが、静かに忍び寄っているのだ。





山遊び海遊び 鉄拐山

投稿者：山本恵昭 投稿日：2022年4月19日(火)00時34分0秒

あまりに天気が良いので、海から山へ。

昨夜は満月。朝、塩屋の海は、大潮の満潮。ハマダイコンの花が美しい。

ハイキング道を辿って、旗振山。振りかえれば、快晴の空に明石大橋と淡路島。

ウバメガシの林の中を、鉄拐山。須磨海岸に浮かぶ船の上を、飛行機が飛んで行く。横尾山の向こうには、六甲山や丹生山。

東に少し下り、南面の水平道を西に。そして、一ノ谷へ下る。逆落とすとされる場所はかなりの急斜面。義経はこんなところを馬で下ったのかな。

住宅地から須磨浦公園。そして、海へ。大潮の干潮。思わず靴を脱いで、磯遊び、アサリ掘り。

海岸沿いに塩屋まで戻ると、釣り人の中に、ふと見覚えのある後ろ姿。懐かしい豆田さんだった。



越田さんへ

投稿者：飯田進 投稿日：2022年4月18日(月)09時24分8秒

写真の手前の草花は、水仙です。

実相寺というお寺の境内に咲いてます。この写真は境内の堀によじ登って写したものです。

Re: 猫鼻温泉の写真

投稿者：山本恵昭 投稿日：2022年4月18日(月)01時12分0秒

越田さんへのお返事です。

> 写真の岩峰は明星山かな。

はい。明星山です。赤禿山へ登りで林道から尾根に出ると、目の前にドーンとそびえていて、迫力がありません。

Re: 猫鼻温泉の写真

投稿者：越田 投稿日：2022年4月17日(日)17時31分48秒

> [No.3393\[元記事へ\]](#)

山本恵昭さんへのお返事です。

> なんとも、不可思議。奇妙で、魅力的。

確かに今時には何とも奇妙な温泉ですね。

かつての蒲原温泉のあったところとは想像も出来ません。

写真の岩峰は明星山かな。

Re: 桜

投稿者：越田 投稿日：2022年4月17日(日)17時26分52秒

飯田進さんへのお返事です。

桜も山もスケールが大きいですな。

武川村からの甲斐駒は特にアングルも良し。

地面の黄色と白の花は何でっしょ。

桜

投稿者：飯田進 投稿日：2022年4月9日(土)14時28分19秒

桜見物に行ってきました。

樹齢2000年の桜と甲斐駒ヶ岳。甲斐武川村から・

木曾駒ヶ岳、伊那小川村から。



総会・慰霊祭

投稿者：井上 知三 投稿日：2022 年 4 月 4 日(月)14 時 24 分 46 秒

事務担当よりお知らせいたします。

本日、総会・慰霊祭の案内【5/14・15】を会員の皆様に送付いたしました。

昨年・一昨年とコロナの影響で中止になっていましたが本年は開催することになりました。詳細については案

内はがきをご覧ください。
多数のご参加をお待ちしています。

猫鼻温泉の写真

投稿者：山本恵昭 投稿日：2022年3月31日(木)14時30分50秒

なんとも、不可思議。奇妙で、魅力的。



赤禿山からの写真

投稿者：山本恵昭 投稿日：2022年3月31日(木)14時19分58秒

快晴、絶景！



風吹大池からフスブリ山と赤禿山。猫鼻温泉三昧。

投稿者：山本恵昭 投稿日：2022年3月31日(木)14時16分3秒

3日間晴天周期のタイミングで、黒負山～朝日岳～蓮華温泉の2泊3日スキーツアーを計画したつもりだったけれど。

3月28日早朝に木地屋に着くと、何故か激しい雨。車の中で待機していると、11時頃になってやっと小雨になってきた。とりあえず行ける所までと、出発。ひと山越えて大所川近くまで滑り下りてみたが、その先の林道トラバース斜面を見て諦めた。雨を吸って、今にも底雪崩が起きそうだ。

木地屋に戻り、意気消沈で以前訪れた猫鼻温泉に。以前焼失したと聞いていたが、再建されていた。バラック建ての休憩室を覗くと、常連さんに混じてこの主、91歳の清水住職がいた。風呂あがりに雑談に加わっていると、住職からここに泊まっていけと。糸魚川まで食材を買い出しに行くと、住職は留守番頼むぞと言って帰ってしまった。休憩室で寝袋に入ってゴロゴロしていると、夜になっても色々なお客が訪れる。車中泊いくらですかとかカビール下さいとか、この人と間違われながら成り行きで対応。結局、ここに素泊まり2泊することになった。

29日、日帰りで、風吹大池経由、フスブリ山へ。

晴れの予報だったのに、曇り空。昨日の雨は上の方では雪だったようで、硬い雪に新雪が乗ってちよっぴりラッセル。複雑な地形を読みながら、最後は雰囲気の良い谷を詰めて風吹山荘に。さらにゆるい尾根をフスブリ山へ。白馬乗鞍岳、雪倉岳が目前に。行くはずだった黒負山から朝日岳の稜線を目で追う。

この辺りの斜面は、スキー天国！風吹大池に雪洞でも掘って、のんびりスキー三昧も良いだろうな。

下る頃には雪も緩み、快適に滑降。日帰りなので荷物も軽い感じ。登り6時間、下り1時間半。スキーは速い！というか、登りが遅すぎか。

再び、猫鼻温泉。温泉三昧、住職や常連さんと雑談、糸魚川買い出し、ひとり宴会、夜のお客対応。

30日、最終日になって、やっと快晴。ショートコース、赤禿山に。

緩い疎林の尾根を登る。右寄りに行くと、明星山がドーン！日本海も見える。左寄りに行くと、木地屋の里の向こうに白馬岳北側の峰々が白く眩しい。そして、振り返ると、頸城の怪峰達が聳えている。

それにしても、暑すぎる。山頂から急な北斜面が人気だが、この気温では立ち入らないほうが無難。のんびり景色を堪能しながら、尾根を忠実に滑り降りる。

またまた、猫鼻温泉で汗を流して、帰途に。

帰りにちょっと寄り道、海岸で石ころ集め、ヒスイ探し。これも楽しい。

当初計画の黒負山～朝日岳のコース。フスブリ山や赤禿山から眺めながら、「また今度行くぞ」と言いたいところだが、「また来年」というのが言えない歳になってきている実感。日帰り山スキーand温泉三昧も良いんだけど、またチャンスが作れるように、日々寛やかに精進しよう。



[飯田さんへの返事です。](#)

投稿者： 南里章二

投稿日：2022年3月23日(水)21時29分21秒

ご購入ありがとうございました。飯田さんがおっしゃるシャヒーンは文中に出てくるシャヒーンと十中八九同一人物だと思います。本人がシムシャル村出身で、ガッシャーブルム II に登頂したと言っていたからです。30 代前半で、体格が良く安定感のあるガイドでした。

奥さんが反対するので登山ガイドの仕事は 40 歳までにしたいと言っていました。あれから約 20 年、今どうしているのでしょうか。

世界史を歩く

投稿者：飯田進 投稿日：2022 年 3 月 23 日(水)10 時 31 分 49 秒

南里先生、遅まきながら読ませていただいています。コッシン推奨の拾い読みで。

懐かしいカシュガルから、ススト、チャプルサン川、そして聖者バーバグンデイの祭ってあるジアーラット。小生ギアーラットからズイウルド^、イルシャッド BC まで二日間馬に乗っての楽しい旅でした。ところで案内人のシャヒーンですが。小生ゴンドコロピークに行ったとき・シムシャル出の新米ポーターで、シャヒーンという若者を雇いました。体格のいい気のいい男で、ピッケル持っていたので、使い方知ってるか？と聞いたら、知らない。そこで急斜面に連れて行って、滑れ、止まれ、と現役時代散々やったストップ練習をやらせてら、すばやく習得して、ゴンドコロピークの天辺までついてきた。そのご 8 0 0 0 m h 峰に登ったと聞いていたので、ひよとすると貴兄の雇ったシャヒーン、同じ男では？ないかいな、と思って。もっともシャヒーンで名前ありふれてるから、違うかも。まあ春の夜長ゆっくり読ませていただきます。、

天児屋山 山スキー

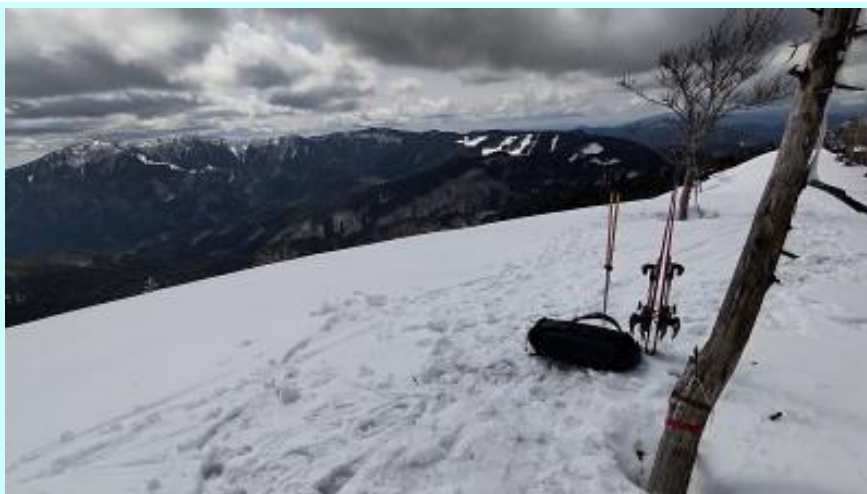
投稿者：山本恵昭 投稿日：2022 年 3 月 22 日(火)07 時 06 分 55 秒

今年は雪が多いようだが、年末の大雪のなか 2 時間かけて 1000m ほどラッセルしただけで、それ以外は全くスキーに行けていない。

3 月 2 1 日、最近貰ったスキー板の調整を兼ねて、ちぐさスキー場から天児屋山へ向かう。出発準備していてビックリ！シールがない。昨夜、隣においていた別のザックに入れてしまったようだ。これから、年齢とともにこういう忘れ物が増えてくるのかなあ。

斜登行、階段登行を駆使して、体力勝負。右に左にスノーブリッジを渡り、後半は尾根上のトレースを辿って、なんとか山頂まで辿り着いた。景色は絶品。





シイタケの写真

投稿者：山本恵昭 投稿日：2022年3月22日(火)07時03分14秒

シイタケの写真です。





シイタケ三昧

投稿者：山本恵昭 投稿日：2022年3月22日(火)00時29分55秒

3月20日、シイタケ三昧！

先週小指の先サイズだったシイタケが、先日の雨で大きくなっているはず。ということで、高雄山、市ヶ原、再度山周辺の森をゴソゴソ徘徊。

予想通り、アッチコッチでシイタケがニョキニョキ。

食べきれないので、ファンヒーターで干しシイタケを作成中。

シイタケと梅の花 写真

投稿者：山本恵昭 投稿日：2022年3月14日(月)07時12分17秒

何故か、文と一緒に写真が送れなかったので、別便です。





シイタケと梅の花

投稿者：山本恵昭 投稿日：2022年3月14日(月)01時57分8秒

腰痛再発でしばらく運動しないしていると、どんどん体力が落ちていく。老化現象恐ろしや！
少し痛みがマシになってきたので、恐る恐る低山ハイクで様子を見てみる。

3月12日、この時期のキノコの主役は、おなじみのシイタケ。天然シイタケを求めて、再度山周辺の森を徘徊。

山の中はカラカラに乾燥していて、見つかるのは小指サイズの赤ちゃんシイタケ。これから、ひと雨ごとに大きくなるのかな。それでも、なんとかおかず程度は収穫。ついでに、ヒラタケ、キクラゲも。

折角なので、大龍寺から再度山山頂へ。そこから北に藪を漕いで駐車場に直接下るが、最後はコンクリート壁に遮られる。同じく行き場に困ったヒキガエルとともに迂回して修法ヶ原駐車場に。ヒキガエルを放すと、意外と速い動きで藪に消えていった。

13日、食物ばかり探していると風情がないので、梅の花を愛で須磨浦山上遊園梅林に。塩屋の海からスタートし旗振山の往復。春霞に淡路島が霞んでいつもの絶景はお預け。ポカポカ陽気で、梅堪能。

エウレストの本

投稿者：鈴木頼正 投稿日：2022年3月11日(金)16時20分50秒

文藝春秋新社の新刊 W、ノイス著が出版されます、期待しています。

六甲最高峰から有馬

投稿者：川村 静治 投稿日：2022年3月10日(木)20時27分13秒

住吉神社の横から有馬道に沿って六甲最高峰に至り、有馬温泉まで歩いてきました。明治の初めまで有馬へ行くには住吉からかごに乗って行ったと伝えられています。住吉神社の横の石碑には有馬は北へ九十丁(9kmほど)とあります。ここから出発して住吉川をさかのぼり七曲りを登って最高峰へ。後北に魚屋道を下って金の湯につかってきました。七曲り、魚屋道何れも崩壊箇所があり迂回路が設定されていました。Yamapの記録によると実歩行距離は13km、上りは累計1227mでした。有馬温泉駅から三宮まで谷上乗り換えで電車がとても便利になっています。



小野アルプス 惣山と紅山

投稿者：山本恵昭 投稿日：2022年2月28日(月)00時18分17秒

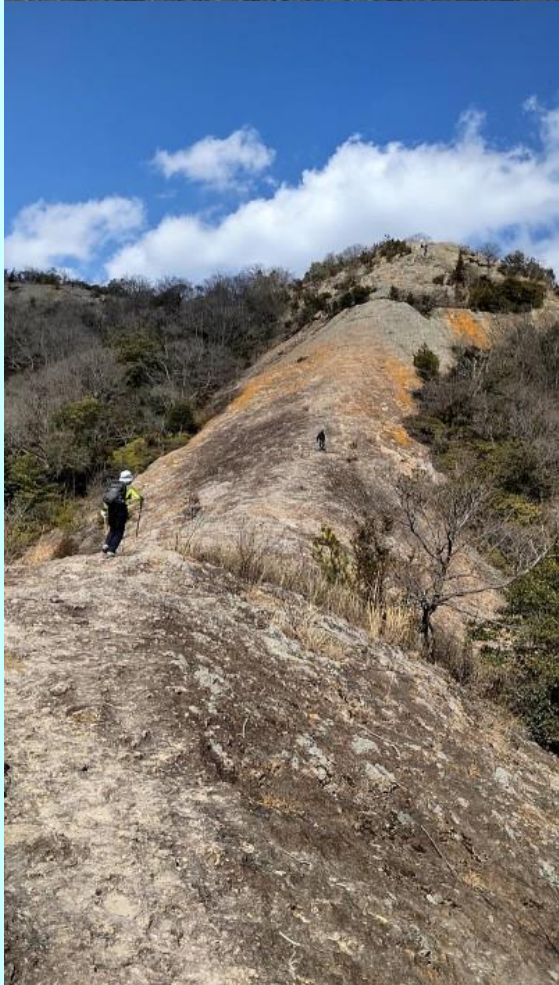
小野に住む息子宅を訪ねたついでに、小野アルプスに。

フル縦走するには時間がないので、鴨池駐車場に車をとめて、惣山と紅山をさりと巡る。静かなハイキングのつもりだったが、老若男女、単独や家族連れなど、様々な方々がこのコースを楽しんでいて、結構賑やか。しっかりした登山道を進むと、展望台を経て、惣山山頂。日本一低い小野アルプスという看板がかかっている。惣山も紅山も、標高200m前後の山であるが、展望がすこぶる良い。

紅山の南面は露岩の尾根。岩が赤っぽいのが名前の由来かな。手をつかずになんとか登れる傾斜であるが、転けると下まで落ちそう。ちょっとした緊張が心地良い。

鴨池に戻ると、オナガガモを中心に、ヒドリガモ、オオバンなどが岸边に集まっている。地元のお爺さんが、くず米をまいていた。添加物が多いので、パンは与えないで下さいとのこと。キャンプ場は、水鳥の保護のために冬場は閉鎖。この間までハクチョウがいたんだけど、残念そうに説明してくれた。毎朝、紅山に登って、鴨池の鳥たちに餌をやるのが日課だそう。

このあたりの地名は、キスミと言うそうだ。kiss me ではなく、来住。なんだか良い響き。心がほんわかった1日となった。





梅見の二次会

投稿者：牧野宏 投稿日：2022年2月27日(日)11時39分41秒

遅れて来た孫ファミリーと保久良さん観梅の続きをしました。

安井さん、来年もよろしくお願いします。

山本さん、温かい鍋料理とキクラゲのお土産ありがとうございます。

投稿記事 削除いたしました

投稿者：福田信三 投稿日：2022年2月26日(土)21時24分14秒

安井さん

当方の投稿記事、出来る限り全て削除いたしました。

ご迷惑をおかけいたしまして申し訳ありません

まだ残っている記事があれば EMAIL でお知らせください。直ちに削除いたします。

本当に山岳会の皆様には多大な不快とご迷惑をおかけいたしましたこと

深くお詫び申し上げます。

故に、ロックガーデンのレリーフの件、ご担当者様へ、小生分は削除してください

以上、よろしくお願いいたします。

福田信三

了解

投稿者：福田 投稿日：2022年2月26日(土)20時59分44秒

安井さん

了解しましたよ

福田

生意気ながら

投稿者：安井 正 投稿日：2022年2月26日(土)20時30分49秒

福田先輩並びに会員各位から叱責覚悟の上感想を投稿します。

福田先輩以外山岳会とは全く関係のない方々との交流の投稿は「甲南山岳部 掲示板」

に違和感を感じます。

福田先輩の世界行脚の投稿を素晴らしく思い、楽しみにしているファンとして
あえて投稿しました。これからも先輩らしい投稿を楽しみにしています。（怒らないでね）

部室棟跡地と観梅会

投稿者：大森雅宏 投稿日：2022年2月26日(土)17時54分6秒

お昼に送れなかった部室の跡地と観梅会の語らいの様子、画像でご紹介します。

部室はつい最近取り壊されたとか。たまたま通りかかった学校職員氏に教えてもらいました。

観梅会ご参加は、手前左が牧野さん 時計回りに川村さん 山本さん 浪川さん 安井さん。山本さん紹介の写真とは逆方向から。

快晴のきりとした空気の中、皆さんお元気で話が弾みました。





梅見会

投稿者：山本恵昭 投稿日：2022年2月26日(土)14時19分42秒

安井さんご企画の保久良山梅見会へ。

朝は寒かったですが、昼頃にはポカポカとなりました。

梅の花はまだちょっと早いようでしたが、一部の株はきれいに咲いていました。





保久良の前に立ち寄ったら

投稿者：大森雅宏 投稿日：2022年2月26日(土)11時07分31秒

保久良の前に学校に立ち寄ったら。
部室棟が消えてました。
こんな風に。

と、写真添付したら。
容量オーバー。
写真はまた改めて。

ゴロゴロ岳

投稿者：川村 静治 投稿日：2022年2月26日(土)09時18分44秒

甲陽園から北山公園、苦楽園尾根、ゴロゴロ岳、奥池へ行ってきました。ゴロゴロ岳はかつて565.6m、現在は565.3m、すぐ横から豪邸村がはじまります。芦屋川への帰路が難路になっていました。芦有は歩行者禁止なのでゴルフ橋までは芦屋川を橋で渡りながら何ということはないのですが、芦屋ゲートから弁天岩までの高巻道は、不明瞭な踏み跡程度。枝道もあって迷いました。芦屋川を岩伝いに渡って弁天岩から城山国有林歩道を行くと湧き水が2カ所あって、最後のあたりが崩壊して通行止めとなっています。左に川まで

下っても私有地の鉄柵で行き止まり。登り直して工事現場を通り抜けましたが、工事はほとんど終わっていて特に問題なく通行できました。城山の登山口にでています。



保久良梅林で

投稿者：井上 知三 投稿日：2022 年 2 月 25 日(金)09 時 28 分 38 秒

安井さん

いつも楽しい企画ありがとうございます。

当日、3 回目ワクチン接種と重なり参加できません。暖かく天候もよくなってきたので、参加したかったのですが残念・残念。

梅見会

投稿者：平井幹男 投稿日：2022年2月25日(金)07時58分29秒

安井先輩

せつかくのお誘いですが、今回は参加出来ません。

次回を楽しみにしています。

盛会をお祈りしています??

Re: 保久良梅林で

投稿者：山本恵昭 投稿日：2022年2月25日(金)00時16分15秒

安井 正さんへのお返事です。

> 2月26日(土) 昼11時過ぎから三三五五

> 3年ぶりに保久良梅林で集いませんか？

土曜日参加させていただきます。

23日再度山の周辺で、梅がちょっとだけ咲いていました。





行きます

投稿者：浪川純吉 投稿日：2022年2月24日(木)21時45分43秒

安井様 保久良神社行きます、宜しくお願い致します。

保久良梅林で

投稿者：渋谷一正 投稿日：2022年2月23日(水)13時40分56秒

安井先輩 前回大変お世話になりました。

また、下の居酒屋さんでも大変お世話になりました。

ありがとうございました。

今回、是非参加したいと思っていたのですが

娘がお産のため帰省しますので欠席させていただきます。
また、次回も誘ってください。

保久良さんの集い

投稿者：牧野宏 投稿日：2022年2月23日(水)12時45分4秒

26日楽しみにしております。
中2の孫連れて行きます。よろしくお願いします。

Re: 保久良梅林で

投稿者：塩崎將美 投稿日：2022年2月22日(火)05時58分16秒

安井 正さんへのお返事です。

土曜日は天気良さそうですね。保久良さんの集まりに参加させていただきます。

高雄山と再度山周辺

投稿者：山本恵昭 投稿日：2022年2月20日(日)23時35分14秒

2月20日修法が原に車をとめて、いつもの摩耶山トレーニングのつもりだったけど、歩き始めると左膝に違和感が。

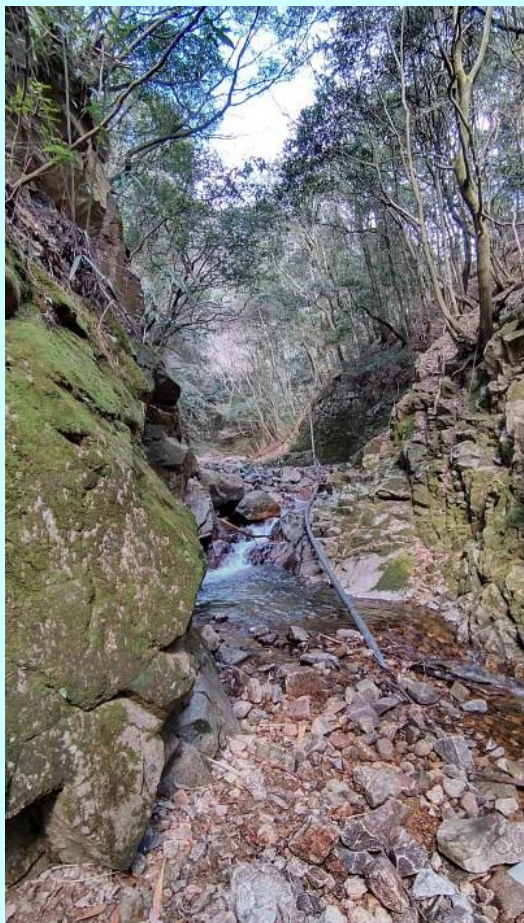
こんな時は無理せず、行き先を手前の高雄山に変更。山頂まで道を辿るだけでは面白くないので、山頂から南東へ伸びる尾根を下ってみる。

平凡な藪下りをしていると、地形図の等高線からは予想外の崖になってきた。仕方がないので右の谷に逃げて下っていく。危険は感じないが、小滝がいくつか現れてなかなか面白い。最後に生田川に合流するところも3mほどの滝となり、そのままでは降りることが出来ない。左岸にイノシシの獣道を見つけ、それに導かれて、ブッシュクライムダウンで市ヶ原と地藏谷出合との間の河原におり立つことができた。

生田川本流を下ってみると、大きな砂防ダムの壁に行く手を阻まれる。流れは、大きな流木の墓場のように、砂地に吸い込まれるようにして消えていく。

仕方がないので、上流へ向かう。綺麗な淵があったり開けた滑滝があったりと、意外と面白い。ナメ滝の横の岩場の上で、ラーメンとコーヒーの昼食。ナメ滝の上には、趣のある古い砂防ダム。それを超えると、地藏谷出合に辿り着いた。

せっかくなので、谷沿いの旧道をたどる。すると先程の大きなダムで道は中断。また、イノシシの獣道に導かれて10mほど登り、きわどいトラバースでダム横のコンクリートの上に到着。下流側にはロープがついていて、簡単に道に戻ることができた。市ヶ原から再度山の麓をブラブラ徘徊。狙い通り、キクラゲ祭り。冬のキノコ、エノキタケとヒラタケも少々ゲット。しばらくキクラゲ料理が続くことになる。



Re: (無題)

投稿者 : 山本恵昭 投稿日 : 2022 年 2 月 15 日(火)20 時 25 分 33 秒

Matsunari ken さんへのお返事です。

- > 以前、2012 年位にメールを頂いておりましたので、こちらに住所をお送りさせて頂きました。
- > 大変お手数ですが、お送り頂けないでしょうか。

先ほど、クロネコヤマト便で送りました。1 8 日に着くとのことでした。
北海道の冬を堪能してください。

Re: (無題)

投稿者 : Matsunari ken 投稿日 : 2022 年 2 月 15 日(火)13 時 43 分 51 秒

- > [No.3358\[元記事へ\]](#)

山本さん

ご返信下さり有難うございます。
以前、2012 年位にメールを頂いておりましたので、こちらに住所をお送りさせて頂きました。
大変お手数ですが、お送り頂けないでしょうか。
今まで預かって下さり有難うございました。

Re: 槍穂高を眺めに、常念岳へ

投稿者 : 越田和男 投稿日 : 2022 年 2 月 14 日(月)09 時 51 分 9 秒

- > [No.3357\[元記事へ\]](#)

山本恵昭さんへのお返事です。

常念からの穂高の眺めを求めて、独り厳冬の北アルプスに遊ぶというもなかなかのもの。
前穂東壁や北尾根の写真を懐かしく拝見。奥又白に幕営して、4 峰甲南ルートなどに一緒に登った鷲木と
カンロクが既に居ないのが何とも寂しい。

槍穂高を眺めに、常念岳へ

投稿者 : 山本恵昭 投稿日 : 2022 年 2 月 13 日(日)14 時 44 分 34 秒

写真の続き



Re: (無題)

投稿者：山本恵昭 投稿日：2022年2月13日(日)14時37分18秒

Matsunari ken さんへのお返事です。

- > 山本さん、スノーシューの件についてお教え下さり有難うございます。すっかり忘れてました。
- > もし今使われていないようでしたら頂いても大丈夫でしょうか？

何度か使わせてもらいました。急な坂には弱いですが、平地では強いので、北海道に最適かと。ブラが割れてきているところをネジで補修しています。
送り先を安全に教えてもらうには、どうすればよいでしょうか。

槍穂高を眺めに、常念岳へ

投稿者：山本恵昭 投稿日：2022年2月13日(日)14時28分17秒

雪の槍穂高を眺めに、東尾根から常念岳へ。

以前、5月に燕岳から蝶ヶ岳まで縦走したときに、何時間も見惚れていた槍穂高の景色が忘れられず、厳冬期に行ってみようかと。でも、じっくり眺めるには寒すぎた。

2月11日朝、須砂渡ゲートに着くともう車が10台ほど止まっている。駐車スペースを確保のため、スコップで雪掻き。南岸低気圧による積雪があり、ラッセルが心配だったけれど、これだけ先行者がいればトレースバッチリ。

2178mピークを超えてすぐにテント設営。この辺りは、平坦な樹林帯の中の人気スペース。本日は、8張りほどのテント団地。

12日、ヘッドランプをつけて6時前に出発。樹林帯を抜けて少し登ったところで、日の出を迎えた。簡単な岩場を超えて前常念岳まで登ると、風が強い。晴れているけど、地吹雪。稜線越しに、穂高の絶景が姿を見せる。

常念岳山頂だけ、風が少しマシであるが寒い。スマホを操作している指先の感覚がなくなってくる。期待した通りの絶景が目の前に広がっているのに、じっくり味わう余裕なく早々に下山。テントを撤収してひたすら下り、須砂渡溪ゲートに16時。

安曇野は、山屋には便利。ゲートから1分ほどで、ほりでーゆ〜四季の郷の温泉。10分ほどで、大型スーパーマーケットのベイシア、すぐ隣にガソリンスタンド。その途中の電線に、オオタカがとまっていた。

自分では結構良いペースで歩いているつもりだけれど、入山も下山も数パーティに追い抜かされた。荷物が重いのか、体が重いのか。いや、ここは素直に歳をとったことを認めよう。でも、前常念岳のちょっとした岩場では、戸惑っている人を横目に、スタコラサッサとお先に失礼！昔とった杵柄はまだ健在なのだ！





山嶽寮炉辺譚

投稿者：越田和男 投稿日：2022年2月9日(水)16時03分13秒

このところ、この掲示板は投稿者も増えて、年代幅も広がり、話題也多岐にわたり結構楽しんでいます。遠近（オチコチ）の話、クライミング、山登り、山歩き、ハイキング、ウォーキング、里山歩きに加えて、身近な巷間の話題もいいですね。北京オリンピックとオミクロンの話が出てこないのも有難いです。

かつて香月慶太さんが唱えられた山仲間の炉端の集いが、この場に及んでNET上で再現されたみたいな気分になります。当方からは話題提供も出来ず、ヤッさんの観梅の誘いにも参加出来ず残念至極。近所の散歩道の花々が咲き競うのを唯待つのみ。

(無題)

投稿者：Matsunari ken 投稿日：2022年2月9日(水)11時37分44秒

皆様

お久しぶりにも関わらず暖かいお言葉をお掛け下さり有難うございます。

皆さん、北海道に結構来られていたんですね。少しびっくりしました。

現在、会社からメタボで目を付けられており毎年栄養士から指導が入ります。

北海道はやたらと誘惑が多く痩せるのが辛いですが何とか痩せられるといいなと思ってます。
山本さん、スノーシューの件についてお教え下さり有難うございます。すっかり忘れてました。
もし今使われていないようでしたら頂いても大丈夫でしょうか？

福田兄

投稿者：飯田進 投稿日：2022年2月9日(水)10時42分7秒

小生札幌に転勤して、最初にした仕事が、岩見沢跨線橋の落札でした。無論事前に談合してあって、こちらは各社に入れ札の金額を渡すだけの仕事でしたがね。それと最初の買い物が、長靴でした。事務所の前の道路が、未舗装だったので、雪解けの泥道になってたから。でも食べ物は美味しかった。雪がすっかり解け暖かくなったころ、八百屋にトウモロコシがでて、それをその場で蒸してだしてくれる。美味いになんのもって、それにラーメン。どうみても屋台でだしてるのと、作り方に変わりがないようにみえるが、美味かった。空気(大気のせいですかね、田舎で飲む酒みたいに。

Re: 杣谷、シエール槍、布引

投稿者：川村 静治 投稿日：2022年2月8日(火)15時16分32秒

> [No.3348\[元記事へ\]](#)

川村 静治さんへのお返事です。

写真を追加します。杣谷の氷瀑、シエール槍山頂、二十渉の崩落箇所です。

> 昔比較的楽なコースだったという記憶の下に JR 六甲道から杣谷、シエール槍、シエール道、トウエンティークロス、布引と歩いてきました。今は砂防ダムが多数出来たため上り下り多く結構足にくるコースとなりました。おまけに斜面崩落、落橋もあちこちあり緊張する箇所もあります。シエール槍は穂高湖からよじ登るのですが、頂上の感じはいいです。三宮まで歩いて眠眠でギョーザと生ビールで疲れをいやしました。





保久良梅林で

投稿者：安井 正 投稿日：2022年2月8日(火)08時46分23秒

2月26日(土) 昼11時過ぎから三三五五

3年ぶりに保久良梅林で集いませんか？

ラッセル不要です。

麓の居酒屋も空いています。

Re: ラッセル練習

投稿者：山本恵昭 投稿日：2022年2月8日(火)00時35分13秒

Matsunari kenさんへのお返事です。

いいなあ～。釣りにスキーに登山に、アウトドアポイントの宝庫、北海道。

生活するのは大変かもしれませんが、北の大地、豊かな大自然をお楽しみ下さい。

10年？程前に預かったスノーシューがありますよ。送りましょうか？

杣谷、シェール槍、布引

投稿者：川村 静治 投稿日：2022 年 2 月 7 日(月)18 時 39 分 28 秒

昔比較的楽なコースだったという記憶の下に JR 六甲道から杣谷、シェール槍、シェール道、トゥエンティークロス、布引と歩いてきました。今は砂防ダムが多数出来たため上り下り多く結構足にくるコースとなりました。おまけに斜面崩落、落橋もあちこちあり緊張する箇所もあります。シェール槍は穂高湖からよじ登るのですが、頂上の感じはいいです。三宮まで歩いて睡眠でギョーザと生ビールで疲れをいやしました。

札幌

投稿者：飯田進 投稿日：2022 年 2 月 7 日(月)11 時 00 分 33 秒

札幌、岩見沢。懐かしいですね。小生昭和 40 年ころ、札幌に勤務していました。おそ松君がでてきて、シェーツで言ってた頃です。まだロードヒートができ始めたころで、一流ホテルの入口当たりだけ雪が解けていました。雪かきはしっかりされていましたが、昼間溶けた雪が夜間凍り付いていて、酔っぱらってオーバーに手を突っ込んで、ふらふら歩いていたら、すってんころりん。ポケットに小銭をつかんだまま、ドッテン、銭が道路に。小銭は雪の中。てな災難にも会いました。当時蹄鉄のような恰好をしたものが、靴屋に売っていたが、これ靴底に打つ、アイゼンのようなものでした。これつけていると安心なのですが、昼間煩い。でも札幌の夜は楽しかった。何せ札幌族全盛のころでしたから。

岩見沢

投稿者：福田信三 投稿日：2022 年 2 月 7 日(月)02 時 26 分 5 秒

弟達が住んでいます

6 日朝の雪は今年一番のようです

雪掻きが日課 75 歳には答えるとか





松成様

投稿者：大森雅宏 投稿日：2022年2月6日(日)21時28分37秒

銀世界の暮らしですね。

コッチでは考えられません、公園でラッセルワーク。

スリムになって、きっと奥さまお嬢さまからカッコいいと言われます。

腹囲を抑えるとそれだけでメタボから外れるので、B健康保険組合もよろこびます。

飽きずにラッセル！続けましょう。

ラッセル練習

投稿者：Matsunari ken 投稿日：2022年2月6日(日)17時24分14秒

ご無沙汰しております。札幌に転勤になりました。昨晚から午前中まで雪が降っていたのですが、昼過ぎによやく落ち着いたので自宅そばの公園でホームセンターで5000円で買ったスノーシューを履いて大嫌いなラッセルの練習をしました。

安いスノーシューだからか、少し歩くと外れるのですが湿気が少なくパウダー状の雪なのでバランスを崩すとどこまでも沈みます。

坂を登ったのですが、やっぱりスノーシューでは厳しく足場がどんどん崩れて10m位しか登れませんでした。

1時間位で汗びしょりになり、ヘトヘトになり自宅へ。疲れました。



恵方巻き

投稿者：福田信三 投稿日：2022年2月3日(木)21時46分18秒

自分達で巻きました

ネタは上等だけど利益はあるのかな？





帝釈山浦川枝沢

投稿者：山本恵昭 投稿日：2022年2月1日(火)00時04分36秒

丹生山系の北面は、古い峠道がとぎれとぎれに存在している。ほとんど人と出会うことがないので、プチ探検気分が味わえる。

30日帝釈山北面、浦川のまだ入ったことない枝沢に行ってみた。

最初は、いつもの峠道を辿る。ふと見ると、カケスと思われる羽根が散乱している。オオタカの餌食にでもなったのか。

280mの二俣から右の沢に入る。傾斜も緩く、道はなくともヤブを漕ぐ必要もほとんどない。途中、良い感じの小滝が現れた。その先の谷の様子に期待したが、後半はなんの変哲も無い平凡な沢だった。古い木々が多く、ヒラタケポイントを数か所開拓。残念ながら、今回はちょっと古くて、ヒダが変色していたので収穫せず。呆気なく帝釈山東肩の縦走路に出て、山頂へ。さすがに山頂には、3グループがいて、昼食中。隅っこでラーメンを作っている間に、その人達が出山すると、また誰もいなくなった。展望は良く、黒い雲の下に淡路島。シビレ山まで太陽と緑の道を辿り、シビレ山から北に伸びる道を下る。結構登り下りがあるが、途中のピークは、丹生山系北面の良い展望台だった。

尾根から沢に降りる所が、あまりにも急斜面。木々に赤ペンキマークが付いているので、道であることは間違いないと思われる。崖崩れでも起こしたのだろうか。ブッシュにぶら下がってのクライムダウン。なんとか、もとの杉道に戻った。



Re: 須磨アルプス

投稿者：川村 静治 投稿日：2022 年 1 月 29 日(土)18 時 17 分 53 秒

> [No.3339\[元記事へ\]](#)

山本恵昭さんへのお返事です。

山本様、

貴重な情報ありがとうございます。

次行く時は気をつけて探して見ます。

> 川村 静治さんへのお返事です。

>

> > 1/18 須磨アルプスを歩いてきました。

> 須磨アルプス、私も好きなコースの一つです。

> 私は、板宿から須磨浦公園に、逆コースでいくことが多いです。最後に旗振山から下りながらの、須磨海岸や淡路島、明石海峡大橋の眺めが気に入っています。もう一つのお楽しみは、板宿から少し登ったところと須磨浦公園に下る所に、夏みかん？が生えていて、この時期実がなっています。ちょっと酸っぱいけど、いつもいくつかいただいて帰ります。

Re: 須磨アルプス

投稿者：山本恵昭 投稿日：2022 年 1 月 29 日(土)11 時 24 分 12 秒

川村 静治さんへのお返事です。

> 1/18 須磨アルプスを歩いてきました。

須磨アルプス、私も好きなコースの一つです。

私は、板宿から須磨浦公園に、逆コースでいくことが多いです。最後に旗振山から下りながらの、須磨海岸や淡路島、明石海峡大橋の眺めが気に入っています。もう一つのお楽しみは、板宿から少し登ったところと須磨浦公園に下る所に、夏みかん？が生えていて、この時期実がなっています。ちょっと酸っぱいけど、いつもいくつかいただいて帰ります。

(無題)

投稿者：ゲテ 投稿日：2022 年 1 月 27 日(木)12 時 46 分 56 秒

写真サイズを縮小して投稿します。



お城巡り

投稿者：ゲテ 投稿日：2022年1月27日(木)12時45分35秒

皆様には大変ご無沙汰しております。

もう、何十年も山とは縁が無く、ここ何年かは城巡りを趣味としています。

友人の松下が亡くなったこともあり、生い先を考えるとやりたい事は今の内に！を心掛け、昨年12月に現存天守12城を最後に残った松江城に赴き達成しました。そのついでに月山富田城の上って来ました。日本全国には無数の古城、城跡があり、まだまだ先は長いのですが、これからも行きたい所が多々ありますので実践しく思っています。

久しぶりの山歩き

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2022年1月25日(火)12時03分52秒

先日 jac の人たちと兵庫県猪名川の雨森山に登ってきました。低い里山でした。小雪のちらつく中の軽登山、これまた、楽し。

お年玉キャンペーン当選

投稿者：山本恵昭 投稿日：2022年1月22日(土)20時17分27秒

数日前、仕事から帰ると、心当たりの無い小包が届いていた。開いてビックリ！応募したことも忘れていた某登山情報サイトのお年玉キャンペーンに当選。中身はモンベルのザック、ストームパック 30。

30年ほど前から使っている同サイズのザックが、生地が劣化して手で裂ける状態になっていたので、良いタイ

ミングで選手交代。

と言う訳で、今日 22 日、新しいザックの使い勝手を確認するために摩耶山へ。

雨具、ツェルト、ダウンベストなどとラーメン作り用具を詰め込んで、ちょうど良いサイズ。息を切らしながら、なかなかのハイペースで天狗道に行く。体は so so heavy、でもザックが ultra light なら、気分も ultra light。市ヶ原から掬星台まで、1 時間 10 分で頑張ってみた。上部は雪景色。掬星台の東屋でラーメンの昼食の後、どうせなら雪の多そうな桜谷を下る。ボロ靴ではよく滑るが、それもまた楽し。途中の河童橋が流されてなくなっていて、びっくり。

ラッキーな出来事に、果たして、今年は良いことが一杯あるのか、それとも運を使い果たしたのか。まあ、とりあえず、快晴の中、冬の 1 日を楽しく過ごすことができた。





滝と鮫鯨鍋

投稿者：飯田進 投稿日：2022年1月22日(土)16時20分31秒

凍った袋田の滝と名物大洗のあんこう鍋を求めてドライブしてきました。

半分凍った袋田の滝と懸命に芸術品を撮ろうとしているバブさん。

名物大洗のあんこう鍋(一人前)とカワハギの刺身をつつくご老人。

寒かった旅でした。



須磨アルプス

投稿者：川村 静治 投稿日：2022 年 1 月 21 日(金)10 時 43 分 20 秒

1/18 須磨アルプスを歩いてきました。JR 須磨下車、須磨浦公園から鉢伏山、旗振山、鉄拐山、高倉台へ鉄の階段で下り、梶尾山を階段で登り直したあたりで膝がパンパン。ゆっくり、ゆっくり須磨のピークの一つ横尾山（312m）をへてスリル満点の名勝 馬の背へ。東山から板宿八幡神社に下り、板宿商店街のひょうたんで餃子と生ビールで一息つけて新長田まで歩きました。脚力の衰えを痛感したハイキングでした



(無題)

投稿者：鈴木頼正

投稿日：2022年1月20日(木)15時01分21秒

今日 1 月 20 日大阪梅田の紀伊国屋書店で、南里章二先生の本、世界史を歩くを本を購入しました
帰り JR の中で本を開くと、未知の歴史が丁寧に、わかり易く書かれていました、ゆづり読ませていただきます。

読みました。

投稿者： **渋谷一正** 投稿日：2022 年 1 月 18 日(火)08 時 06 分 37 秒

南里先輩の本、読みました。
お正月にアマゾンから届き、さっそく読みました。
先輩が現地に行かれて、書かれた文章と
長年、教鞭をとられた経験による知識の蓄積が重なり
一味違う歴史を感じました。
面白かったです。
もう一回初めから読もうと思います。

書影

投稿者： **越田和男** 投稿日：2022 年 1 月 17 日(月)12 時 05 分 55 秒

> [No.3303\[元記事へ\]](#)

>



Re: 南里章二著『世界史を歩く』

投稿者： **越田和男** 投稿日：2022 年 1 月 17 日(月)12 時 00 分 53 秒

このほどアマゾンで購入可能となりました。是非お買い求めを。

先月、ほんの少しを読んだ段階で簡単な紹介記事を書きましたが、その後少しずつじっくりと楽しんでいます。流石、世界史で教鞭をとっておられるだけのことあり、よくぞこの広い世界の隅々、辺境といわれる地域のことまでを調べ上げたものと感じ入る次第。

.....

> 待望の全世界紀行第二弾が上梓されました。世界 194 カ国を踏破直後の前著『全世界紀行・民族と歴史、そして冒険』（ナカニシヤ出版、2003 年）から 18 年。その間も 80 カ国を超える旅を続け、今回はコロナ禍の巣ごもりを活用しての、大冊の執筆は流石のもの。

>

> 南里章二著『世界史を歩く』—新全世界紀行—

> ナカニシヤ出版 2021 年 11 月 30 日 475 頁 定価（本体 3000 円）

>

> 序文に「このたびは、国境を越えた広い地域の歴史をブロックごとに捉え、それらの相互関係を自身の旅の体験でつなぐ形式にした」とある。自身の見聞と、痒いところに手の届くような適切な歴史解説のバランスが良く、自身撮影の写真も豊富、地図の添付も適切、アフガン、チベット、中東、新疆ウイグルなどの問題地域の描写もアップデートされており有難い。

>

> 「前著と同じく、どこから読んでいただいてもかまわない」とあるので、筆者はワクワク感のある「中央ユーラシアの世界」、そして「チベット世界を歩く」から読み始めた。

> こんな内容です。甲南山岳会の諸兄も興味深々では。

>

> 第六章 中央ユーラシアの世界「シルクロード」をとりまく国々

> 1 新疆ウイグル自治区からパキスタンとの国境へ

> 2 仏教伝来ルート

> 3 アフガニスタン再入国

> 4 北インドーペシャワルからアグラへ

> 5 中部インド、宗教芸術をめぐる旅

> 6 仏教四大聖地を巡る

>

> 第 7 章 チベット世界を歩く

> 1 ザンスカール

> 2 チベットの歴史

> 3 聖山カイラスをめざす

> 4 カイラス山周遊

>

> 書架において時折拾い読みもまた楽しからんと思う。お勧め本です。先ごろ亡くなられた雨宮宏光さんが「南里、次の本はいつ出すんや」と心待ちにされていたのに残念。

>

>

投稿者：平井幹男 投稿日：2022年1月17日(月)11時59分7秒

平井先生を偲ぶ会のご案内をお知らせしておりましたが、神戸大学山岳会会長の山田様より最近のコロナウィルスの感染拡大を鑑み1月29日の開催は延期となりました。

今後の開催等については又連絡があり次第ホームページで連絡させていただきます。

宜しく願いいたします。

Re: 再度山が初めて？

投稿者：山本恵昭 投稿日：2022年1月10日(月)12時05分16秒

福田信三さんへのお返事です。

> 山本さんへ

> 彼方此方の山をいきまわっている（失礼、変な表現）山本さん、神戸の裏山の再度山が初めてとは驚きです。

修法ヶ原や大龍寺下のシイの森にはよく行くのですが、再度山の山頂に登ったのは初めてでした。短時間ながらも変化に富んで楽しかったです。

空木岳、久しぶりの本格的冬山

投稿者：山本恵昭 投稿日：2022年1月10日(月)11時58分48秒

この連休は、絶好の山日和。年末の寒波で断念した空木岳に。

8日、駒ヶ根高原スキー場の駐車場に車をとめて、7時過ぎに出発。快晴のもと、林道終点は南アルプス展望台。池山避難小屋分岐、マセナギ、大地獄小地獄の鎖場と順調に。ヨナ沢の頭でテント泊の予定だが、この調子だと空木平避難小屋まで行けるかもと思ったのが甘かった。

ヨナ沢の頭へ夏道を辿るが、怖いくらい急な樹林帯のトラバース。そして、サラサラ雪の底なしラッセル。何度も踏み固めて、そっと体重を乗せる。大丈夫かと油断すると、ズボズボと腰まで埋まる。この雪の中、転けたら立ち直れない。ストックでなんとかバランスだけはキープ。そうこうするうちに、とうとう日が暮れた。ピンチのはずなのに、悲壮感はない。逆に、ヘッドランプをつけて淡々と作業を繰り返し、遅々たる進行を楽しんでいる。18時過ぎに、ヨナ沢の頭の尾根に出た。倒木の横を整地して、テントを張る。

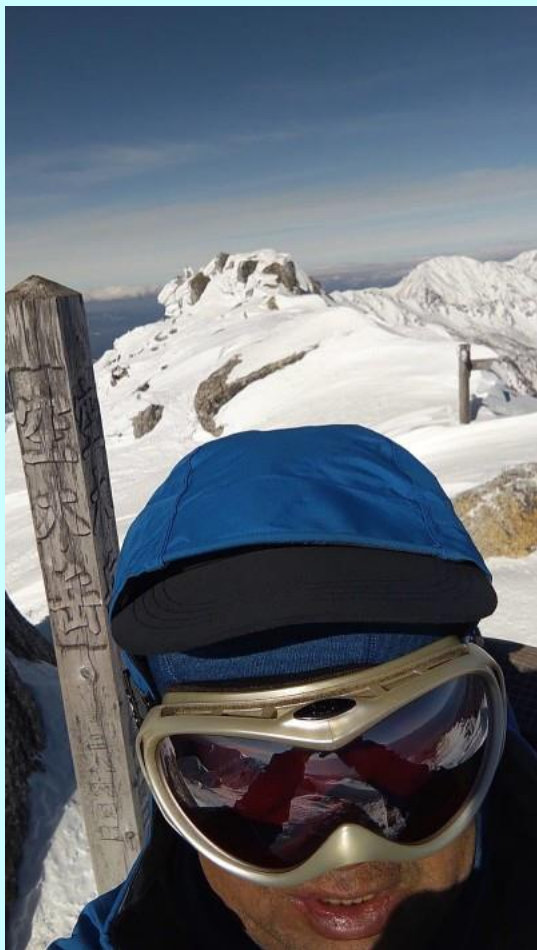
9日、この先も昨日のような雪質ならもう下山しようと思うと気合が入らず、朝はダラダラ準備。幸いそこそこクラストしているので、7時半に山頂を目指して出発。駒石辺りは風が強く、ときどき耐風姿勢。不思議と、駒峰ヒュッテは風がない。一息入れていると、山頂にかかっていたガスが晴れた。

11時、空木岳山頂は絶景。木曽駒ヶ岳からの稜線が美しい。南駒ヶ岳方面は凛々しい。

そさくさと下山。朝のダラダラが祟って、テントに13時。予備日を1日設定しているが、下れるところまで下ることに。心配していたヨナ沢の頭のトラバースは、今日登ってきたパーティに踏み固められていた。池山避難小屋分岐で日が暮れた。小屋に泊まろうかとも思ったが、惰性で下る。ヘッドランプをつけると、雪道は明るい。林道終点からの夜景が美しい。ひたすら下って、駐車場に19時45分。

2日続けて12時間ほどのヘッドランプ行動、本気のラッセル、耐風姿勢、指先がピリピリする寒さ。久しぶりのなんだか懐かしい感覚に、疲れも吹き飛ばす充実の山行だった。





雪見会

投稿者：南井英弘（関学山岳会） 投稿日：2022年1月7日(金)06時59分54秒

誠に残念ですが次の機会を楽しみにしています。

ご苦労様でした。

Re: 雪見会

投稿者：山本恵昭 投稿日：2022年1月6日(木)17時52分3秒

飯田進さんへのお返事です。

楽しみにしていたのですが、残念です。

実際、コロナの感染再拡大の様子も考えるとしょうがないですね。

いろいろと有難うございました。

雪見会

投稿者：飯田進 投稿日：2022年1月6日(木)13時46分43秒

雪見会。今回皆様ご都合悪いようなので、中止いたします。

南井さん山本さん悪しからず。

登り初め、再度山

投稿者：山本恵昭 投稿日：2022年1月4日(火)01時33分11秒

明けましておめでとう御座います。本年もよろしくお願いいたします。

1月3日登り初めは、初めての再度山。

修法ヶ原の駐車場に車を止め、少し登って南に下る。踏跡からはずれ、適当に森の中を右往左往。

狸々池でラーメンと珈琲の昼食。ここは再度山へのメインコースなので、結構ハイカーが通る。

東に尾根上の踏跡を登り、ドライブウェイ沿いの登山道を北へ。この辺り、植林されたものとはわかっているけど、立派な照葉樹林に魅せられる。ブナの明るい森も良いけれど、シイの重厚な森もなかなか良い。道を離れて、森を徘徊。大きな倒木に、シイタケ、ヒラタケ、アラゲキクラゲ。

大龍寺山門下に、毎日登山の石碑を発見。ニッカボッカの姿がカワイイ。

そう言えば、この辺りに何度も来ているが、大龍寺にも再度山山頂にも行ったことがなかった。

長い階段を避けて左側の鳥居の道を上ると、釣鐘堂に出た。本堂の右側から奥ノ院へ。さらに急斜面の道を登ると、亀石を経て再度山山頂。初めての来訪。意外と広く、見晴らしも良い。

西への道を下ると、再度越の登山道に出て修法ヶ原へ。池は、このところの寒波で半分凍っていた。

寒波の年末とうってかわって、穏やかなお正月。晴れ渡った空の下、食べ過ぎ飲み過ぎを少しだけ解消出来たかな。





明けましておめでとうございます

投稿者：平井幹男 投稿日：2022年1月1日(土)00時00分3秒

明けましておめでとうございます。

今年こそ皆さまと明るい笑ゆ？顔でお会いしたいです